

要件確定研修

要件確定強化プログラムの機能要件確定部分のみに焦点を当てた抜粋編です。

要件確定強化プログラムの第1単元・第2単元・第5単元が対象です。

1 当研修の実施目的 (Why)

① 当研修の目的

次を実現いたします

- 要件不備の発生実態を社内共通認識する。
(第1単元、第5単元)
- 機能要件面の要件不備対策の決め手を学ぶ。
(第2単元)
- 学んだことを実践して成果に結びつける。
(第5単元)
- 学んだことを実践する「しつけ」を行う。
(第5単元)



② 当研修のねらい

以下をねらいとします

- 要件不備を減少させる。
- それによる失敗プロジェクトを減少させる。
- それによって、発注者はシステムに対する満足度を高めることができる。
- 受注者は不採算プロジェクトを減少させることができる。
- 受注者はプロジェクト要員の過酷な状況を削減することができる。
- 受注者はお客様からの高い評価をいただくことができる。

2 当研修の内容 (What)

第1単元: 受講者が過去に経験した要件確定不備で失敗したプロジェクトの状況を整理して共有します。

第2単元: 開発目的の明確化が、要件確定の決め手になることを解説し、過去の失敗プロジェクトで、開発目的明確化のためにどのような対応をしていれば良かったのかを検討します。この経験によって、今後の案件で開発目的明確化を実施する際の指針を得ることができます。

第5単元: 第2単元終了後、2~3ヶ月で開催。第2単元で習得した方法を実際の案件に適用した結果を発表します。受講者は発表数だけのミニ・ケーススタディを体験できることとなります。

第1単元	受講者各人が体験した要件不備プロジェクトの概要と不備となった想定原因を整理して発表する。情報の共有化になる。	<ul style="list-style-type: none"> S1 開催責任者殿からの訓示 当研修の目的・ねらい、進め方の解説 S2 要件不備がプロジェクトの失敗の大きな要因になっていることを解説 S3 受講者が過去に経験した要件不備によると思われる失敗プロジェクトの状況・想定原因を整理 S4 S3の結果を数人で編成するチーム内で発表・研究し、S5で発表する案件を選定 S5 S4の結果を全員集合の場で発表・研究し、失敗プロジェクトの状況を共有 S6 どのような案件不備が多かったかを整理
第2単元	要件不備のうち、機能要件部分についての明確化対策を研究する。対策の要点は以下のとおり。 発注者を支援して要件明確化に積極的に取り組む。 その際、「開発目的の完全定義」を第1目標とする。 その作業を助ける「武器」を使用する (研修ではその使用訓練を行う)。	<ul style="list-style-type: none"> S1 要件確定の決め手となる改善策は、システム開発目的の完全定義であること、システム開発目的の明確化はどのように進めれば良いかを解説 S2 S1の補講 S3 各チームで、チームメンバの誰かの第1単元での不備案件を題材にして、開発目的明確化をどのように進めれば良かったのかを検討(講師から提示されるテンプレートを使用する) S4 S3の検討結果を発表し、開発目的明確化をどのように進めれば良いかを共有 S5 開発目的明確化の類型を整理 S6 宿題となる開発目的明確化の実践方法の説明
第5単元	各単元で学習したことを実務で実践して、その結果を報告する。 実践を強制することによって研修の成果が実現する(実践しなければ研修は時間とお金のムダである。どんなに有効な研修でも強制しないと多くの人は実践しない)。 この実践報告会は非常に充実した情報・体験の共有化の場となる。	<ul style="list-style-type: none"> S1 第5単元の目的・ねらい、時間割の説明 S2 所定の期間に開発目的明確化の実践ができた方が実践結果発表。結果の共有 S3 今後、開発目的明確化を組織として取り組むにはどうすれば良いかを検討 S4 S3の検討結果の発表・確認 S5 開発目的明確化の推進方法の研究

3 当研修の対象者 (Where)

① 情報サービス業殿の場合

中堅以上のシステム開発従事者で、
お客様からの提示要件に対応する必要のある方
またはその上司の方
お客様の要件変更に対応する必要のある方(営業の方含む)

② 発注企業システム部門在籍者殿の場合

各部門の開発要求をRFPまたは要件提示書に
まとめる必要のある方
またはその上司の方

4 当研修の実施方法 (How)

企業内研修として実施させていただきます。
したがって、ある程度のカスタマイズが可能です。
第1単元は1日コースです。
第2単元は1.5日コースです。
第1単元と第2単元は連続して実施されることがお勧めです。
以上の条件からすると、第1単元と第2単元は1泊2日研修と
されることがお勧めです。
第5単元は1日コースです。
標準時間割をご参照ください。

5 当研修の実施時期 (When)

第2単元と第5単元の間は2~3ヶ月あける必要があります。
この前提で日程調整させていただきます。

6 当研修の担当講師 (Who)

弊社のインストラクタ1人が担当いたします。

7 当研修の実施料金 (How Much)

講師料: 1,080,000 円
テキスト代: 16,800 円 / 1人
開発目的明確化ガイドを含みます。

【標準時間割】

	第1単元 要件不備の現状認識	第2単元 要件確定対策の解明	第5単元 要件確定の実践研究	
8:00		8:30 集合・開始		8:00
9:00	9:30 集合・開始	S2 オリエンテーション (価値目標思考解説)	9:30 集合・開始	9:00
10:00	S1 オリエンテーション	S3 要件確定対策の検討 (チーム演習)	S1 オリエンテーション	10:00
11:00	S2 要件不備問題の重要性 (解説)		S2 実践結果発表・研究	11:00
12:00	S3 要件不備の原因分析 (個人検討)		昼食	12:00
13:00	昼食 (つづき)	昼食	昼食	13:00
14:00	S4 要件不備の原因分析 (チーム内検討)	(つづき)	(つづき)	14:00
15:00		S4 要件確定対策の検討 (演習結果発表)	S3 要件確定改善方法の検討 (チーム演習)	15:00
16:00	S5 要件不備の原因分析 (チーム内検討結果発表)	S5 第2単元まとめ	S4 実践結果研究のまとめ	16:00
17:00		S6 実践方法説明	S5 開発目的明確化の実践ガイド	17:00
18:00	S6 第1単元まとめ	18:00 解散		18:00
19:00	夕食			19:00
20:00	S1 第2単元 要件確定対策研究 (解説)			20:00
21:00	懇親会			21:00

* 時間配分につきましては、進捗状況により変動の可能性があります。
* 休憩は適宜設定いたします。

お問合せ

システム企画研修株式会社

中央区日本橋小伝馬町16-2 東事協ビル2F

TEL : 03-5695-3130 FAX : 03-5695-3131

E-Mail : mind-pc@newspt.co.jp HP : http://www.newspt.co.jp/